



参加費  
無料

第3回 児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム

# 子どもへの虐待を 予防する仕組みづくりを どう進めるか？

2022年

**11/23** (水・祝)

14:00~17:10  
(入室開始 13:40)

実施方法

オンライン (Zoom)

※後日、ご登録いただいたメールアドレスに  
Zoom URLをお送りします。



お申し込み  
定員 **150名**

下記ホームページからお申し込みください

<https://www.mcfund.or.jp/>

申込締切日: 2022年11月14日 (月) 13時

QRコードはこちら ↓



お問い合わせ先

# Time Table

## タイムテーブル

13:40

入室開始

14:00

開会 主催者あいさつ

14:10

### 第1部 ゲストスピーカーによる講演

テーマ **児童虐待予防のための仕組みづくりと  
多職種・多機関連携の促進について  
—長野県「こどもがまんなか円卓会議」  
を事例に考える—**

国立成育医療研究センター  
こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科  
診療部長 立花 良之 氏

15:00

### 第2部 ドコモ市民活動団体助成事業 助成先団体による活動報告

- NPO法人 飛騨高山わらべうたの会  
理事長 岩塚 久菜子 氏
- NPO法人 育ちあいサポートブーケ  
代表理事 藏原 亜紀 氏
- 認定NPO法人 わははネット  
理事長 中橋 恵美子氏

※ご登壇予定順

15:50

休憩

16:05

### 第3部 ディスカッション・ 質疑応答・まとめ

テーマ **子どもへの虐待を予防する仕組みづくり  
と進め方の課題と展望**

コーディネーター 川北 秀人 氏

17:10

閉会

## 「第3回 児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム」を開催します。

この度、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)では、「第3回児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム」を2022年11月23日(水・祝)にオンライン開催します。「こども家庭庁」の設立に向けた法制整備が進められる一方で、子どもへの虐待を予防するしくみを、子どもにとってアクセスしやすいものにするためには、市区町村など身近な自治体単位での体制整備が欠かせません。今年度は、その実現に向けた取り組み事例を紹介するとともに、多職種・多機関と連携し、児童虐待を予防する仕組みをどのように作り上げ、進めていくのかについて、参加者の皆さまとともに考えます。

### ◆ 講演者



国立成育医療研究センター  
こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科 診療部長

立花 良之 氏

Yoshiyuki Tachibana

2001年信州大医学部卒。10年東北大大学院博士課程修了。  
2010～2012年英Manchester大・王立Manchester小児病院児童精神科博士研究員。  
2012年より国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科に勤務。  
2018年より現職。

### ◆ コメンテーター



津田塾大学客員教授

村木 厚子 氏

Atsuko Muraki

高知大学卒業後、労働省(現・厚生労働省)入省。女性政策や障害者政策などを担当。2009年、郵便不正事件で逮捕。10年、無罪が確定し、復職。13年、厚生事務次官。15年、退官。困難を抱える若い女性を支える「若草プロジェクト」呼びかけ人。2017年度よりドコモ市民活動団体助成事業選考委員。伊藤忠商事等社外取締役、津田塾大学客員教授。2021年より内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与。著書に、『あきらめない 働くあなたに贈る真実のメッセージ』(日経BP社)、『日本型組織の病を考える』(角川新書)などがある。

### ◆ コーディネーター



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

川北 秀人 氏

Hideto Kawakita

京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。広報や国際採用などを担当して91年退職。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。数多くの助成金審査委員等を歴任。(2018年度よりドコモ市民活動団体助成事業選考委員長)。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、大小さまざまなNPOのマネジメント支援、社会責任志向の企業のCSRマネジメント、NPOと行政との協働の基盤づくりも支援している。